

サツマイモの新品種開発の研究者によるオンライン講義を実施 ～農業を学ぶ生徒、約100名が受講～

6月26日（月）5時間目に、農業科1年～3年生、食品技術科1年生、総合学科メディア・マーケティング系列2年次の生徒、合計約100名が、教室等で、サツマイモの新品種開発の研究者によるオンライン講義を受けました。

昨年6月に教員研修で、「サツマイモの新品種開発」をテーマに、農研機構の上級研究員の田口和憲様を訪問したことがきっかけで、今回、農業を学ぶ生徒に講義をしていただきました。

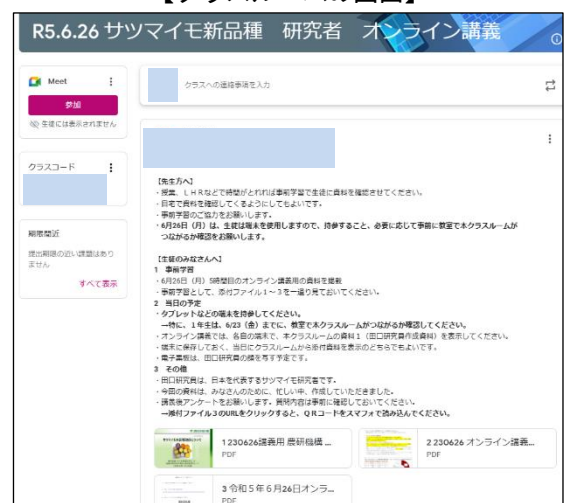
【参考】（下線部をクリックしてください）[220617 農研機構 視察（教員研修）（ibk.ed.jp）](#)

講義に向けて、Google Classroomにクラスを作成して、受講生徒を登録し、田口様から講義用資料を6日前に送付していただき、生徒が事前学習できるようにしました。

講義では、つくば市の研究室と学校をオンラインでつなぎました。電子黒板に田口様の表情を写して、生徒は、個人端末で資料を見ながら説明を聞きました。

日本を代表するサツマイモの研究者による講義は、生徒に貴重な経験になりました。今回の講義を通して、生徒には、茨城県の特産品のサツマイモをはじめ、農業に興味・関心を高めて、日々の学習に積極的に取り組んでももらいたいと思います。

【クラスルームの画面】



～オンライン講義のようす～



※個人端末で資料を見る生徒